

Akisai (秋彩)

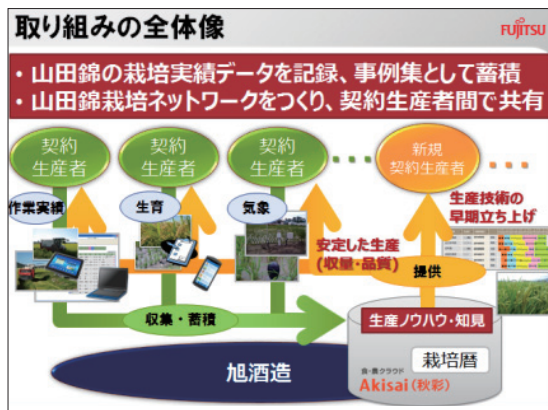
山口県岩国市の旭酒造(株)は、日本酒「獺祭(だっさい)」の原料となる「山田錦」の安定的な調達を目指して、富士通(株)の「Akisai(秋彩)」(生産から経営・販売まで企業の農業経営を支援する食・農クラウドサービス)を「山田錦」生産農家に導入。生産量増加と安定的な調達に向けた新たな取り組みを開始した。

背景

旭酒造(株)では、「獺祭」の原料となる酒造好適米「山田錦」の生産者が限られているため、安定調達ができないという課題を抱えていた。「山田錦」の契約栽培農家を増やすために全国で勉強会を開催していた旭酒造(株)は、富士通(株)と「山田錦」の栽培における作業実績と生産コストの「見える化」を目的に、2014年4月より取り組みを開始。山口県内の「山田錦」生産農家に富士通(株)の食・農クラウド「Akisai」を導入して栽培ノウハウを提供。「山田錦」の生産量増加に向けた取り組みを強化している。

概要

「山田錦」の生産現場で、日々の作業実績や使用した農薬・肥料・資材のほか、稲の生育状況、収穫時の収量・品質などをパソコンやスマートフォンなどで記録。環境情報の収集として圃場にセンサーを設置し、気温・湿度・土壌温度・ECを1時間毎に自動収集し記録するほか、定点カメラにより毎日正午に生育の様子を撮影し、栽培作業実績情報の収集・蓄積と見える化を開始している。



アピールポイント

- 栽培成績の良かった作業実績を参考にして「栽培の手引き」を作成。
- 生産過程全体にかかるコストを作業実績から産出。
- 農薬、肥料の使用実績から生産履歴情報を作成し、安全性の担保とする。
- 2014年から始められた取り組みであり、データ蓄積後の分析等により次年度以降での成果・効果が期待できる。